

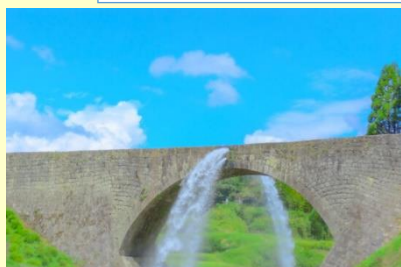


茶道体験教室

私もそばで拝見していましたが、一度では覚えきれないほど細やかな所作があり、子供たちは真剣な表情で取り組んでいました。次に、お茶のいただき方を学びました。差し出された茶碗を軽く二度回してからいただきます。ただし、一気に飲み干してはいけません。最初に少し口をつけた後、いったん茶碗を下げ、点ててくださった相手に目を向けます。その後、少しずつ味わいながら飲み進め、最後のひと口は「ずー」と音を立てて飲み終えることで、相手に感謝の気持ちを伝えるのだそうです。茶道に疎い私にとっては初めて知ることばかりで、たいへん興味深い時間でした。そして、先生に点てていただいたお茶はとてもおいしく、心がずっと落ち着く味わいでした。子供たちが小学生のうちから 本物の伝統文化 に触れる機会は、何ものにも代えがたい貴重な体験です。〇〇先生、丁寧なご指導を本当にありがとうございました。



知ってましたか？日本でただ一つ指定された橋



先週10日(木)、八代市東陽町にある 石匠館 の館長(〇〇)さんをお招きし、4年生の通潤橋学習として出前授業を行いました。授業では、通潤橋の建設に尽力した 布田保之介 や、種山石工の中心人物である 橋本勘五郎 の働き、さらに通潤橋や円形分水が造られた背景について、館長さんから分かりやすくお話しいただきました。子供たちは、地域の歴史に触れながら、興味深そうに耳を傾けていました。講話の中で特に印象的だったのは、日本には現在約70万もの橋があるということ。その中で、通潤橋は日本でただ一つ「国宝」に指定された橋だというお話でした。神社や仏閣が国宝に選ばれることはよく知られていますが、橋として唯一選ばれていると聞くと、改めてその価値の高さに誇らしい気持ちになりました。4年生には、今回の学習をきっかけに、これからさらに学びを深め、熊本の良さや地域の魅力をたくさん見つけていってほしいと思います。〇〇さん、ありがとうございました。

